

秋田県 公立高校の入試制度

【2024年度版】

選抜概要

●秋田県の公立高校入試は1次募集の1回ですが、選抜方法が2種類あります。

●1次募集

・3月上旬に1回、特色選抜と一般選抜の2種類を実施。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
1次	2/1(木)~6(火)	2/8(木)~13(火)	3/5(火)	3/13(水)

●出願は、原則1校1学科に限ります。

志願者は特色選抜または一般選抜のいずれかに出願します。特色選抜に出願する場合は、同一の高校（同じ学科または異なる学科）に限り一般選抜を併願することが出来ます。

また、一般選抜において、設置学科が2つ以上ある学校の場合、2学科まで志願することが可能です。

●2次募集は、1次募集が終了した時点で合格者が募集定員に満たない学科において実施し、募集人員は当該学科の募集定員までの人数とします。

選抜資料

●実施検査と配点等

・学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科 (国数英各60分, 理社各50分) 500点(各100点満点) ※数学では学校による問題選択を一部取り入れる
・面接	全員実施
・調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定(3年間)を点数化 1~3年次の評定 (5教科〔国・数・英・理・社〕の評定値) + (4教科〔音・美・保健体育及び技・家〕の評定値×2) = 最大195点

特色選抜・一般選抜いずれの場合においても、志願者は5科の学力検査を受検します。また、調査書の各教科の学習の記録は、3年間の学びを評価します。

特色選抜

●特色選抜は、各学校の示す「求める生徒像」及び「出願の条件」を満たしている受検者が対象です。

県外居住者の入学者数は学科全体の募集定員の10%が上限となります。

●選抜方法

学力検査の成績，調査書，志願理由書，面接等の評価に関する資料及びその他必要な書類などに基づいて判断し選抜されます。

●学力検査，調査書における各教科の学習の記録の配点は，前述した内容を原則としますが，学科の特性等を考慮して各学校により変更することが可能です。

また，面接についても点数化を原則としますが，段階評価（A・B・Cなど）とすることも出来ます。

各学校の詳しい配点等は，秋田県教育委員会が発表している「求める生徒像及び選抜方法等」に記載されていますので事前に確認しておきましょう。

一般選抜

●一般選抜の募集人員は，当該学科の募集定員から特色選抜の募集人員を除いた人数とします。ただし，特色選抜の合格者が募集人員に満たない場合は，その分を加えた人数となります。

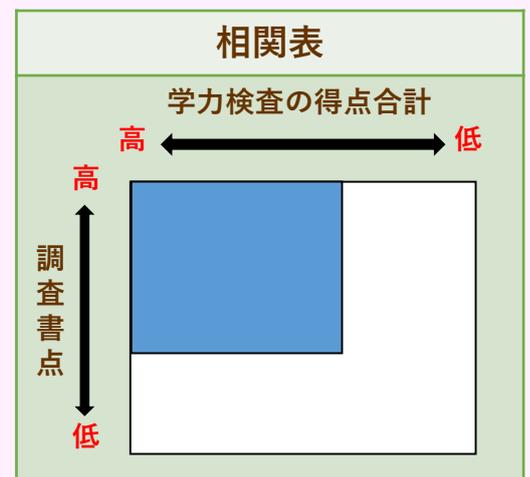
●選抜方法

合否判定は以下の①・②に基づき，総合的に判断して選抜します。

①学力検査の検査得点の合計と
調査書点を基に各学校で作成した相関表

②調査書の記載内容及び面接の評価
に関する資料

- ・調査書の記載内容及び面接の評価を用いて，網掛けの部分から総合的に判断して選抜します。
- ・網掛けの範囲は各学校で定められます。



●学力検査，調査書における各教科の学習の記録の配点等は前述した通りですが，面接については原則として段階評価（A・B・Cなど）とします。

●志願先を変更した受検生と，最初からその学校へ志願した受検者とは，同等に扱うものとします。